

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	EX681／法政外国語演習<英語> (Seminar on Law and Politics(English))		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	オーストラリアの政治とジェンダー		
担当者名 (Instructor)	杉田 弘也(SUGITA HIROYA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	LPX2910	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	その他登録		

授業の目標(Course Objectives)

オーストラリアにおける政治とジェンダーに関する英語文献の講読を通じ、現代社会・政治について考える。

The objective of this seminar is to think about contemporary society and politics by reading literature in the English language about Australian politics.

授業の内容(Course Contents)

2021年のオーストラリア政治を特徴づけるのは、オーストラリア政治の#MeToo運動とも呼べる動きである。それは性暴力を告発した若い女性が Australian of the Year に選ばれたことから始まり、連邦議会内におけるセクシュアルハラスメントや性暴力が明るみに出る事態に至った。また、政府の気候変動政策や政治倫理の欠如に業を煮やしたプロフェッショナルな職業に就く女性たちが、無所属候補として立候補を表明し、政権を脅かしている。この演習では、そう言った動きに関する英語文献を読み、ともに考えていきたい。

Australia's politics has faced with arguably its own #MeToo moment. The year was heralded by the naming of young sexual violence sufferer, Grace Tame, as the Australian of the Year in January 2021. Her acceptance speech encouraged another young ministerial staff, Brittany Higgins, for speaking out about the allegation of sexual violence in the Parliament House. In a meanwhile, group of articulate professional women, who have had enough in government inaction on climate change and integrity issues, have announced to stand as independent candidates at the Federal election and would inflict huge damages to the government. This year, we are going to read and discuss the book on this remarkable development.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. オーストラリアの政治・社会に関する英語文献の講読 1
3. オーストラリアの政治・社会に関する英語文献の講読 2
4. オーストラリアの政治・社会に関する英語文献の講読 3
5. オーストラリアの政治・社会に関する英語文献の講読 4
6. オーストラリアの政治・社会に関する英語文献の講読 5
7. オーストラリアの政治・社会に関する英語文献の講読 6
8. オーストラリアの政治・社会に関する英語文献の講読 7
9. オーストラリアの政治・社会に関する英語文献の講読 8
10. オーストラリアの政治・社会に関する英語文献の講読 9
11. オーストラリアの政治・社会に関する英語文献の講読 10
12. オーストラリアの政治・社会に関する英語文献の講読 11
13. オーストラリアの政治・社会に関する英語文献の講読 12
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

配付された文献を読み、疑問点や自分の意見を明確にしたうえで授業に臨むこと

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(35%) / 出席・授業への参加(30%) / 報告(35%)

テキスト(Textbooks)

印刷教材をそのつど配布する

参考文献(Readings)

授業中随時紹介する

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

<選考方法>

採用人数:10名程度

配当年次:2~4年次

選考方法:レポート

①題目:この演習を志望する理由

②字数:1000字(A4用紙1枚)程度

注意事項(Notice)